



2025 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社KYORITSU
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 景 山 豊
(コ ー ド : 7795 東証スタンダード)
問合せ先 取 締 役 管 理 統 括 田 坂 優 英
(電話番号 : 03-5248-5550)

「事業計画」の改定に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月 23 日開催の取締役会において、経営環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るための「事業計画」を改訂することについて決議いたしましたので、別添のとおり、お知らせいたします。

以 上



事業計画

株式会社KYORITSU

(証券コード：7795)

2025年6月23日



- 1 事業計画
- 2 各事業の取り組み
- 3 資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応方針の策定について
(2025.6.23改定)
- 4 2025年3月期決算概要

1

事業計画

事業ポートフォリオの構築

情報デジタル 事業

- DMサービス
- 電子書籍事業
 - ・ 配信取次・IP事業
- 映像制作
- 総合広告代理業
- WEB広告
- WEBマーケティング

プリントメディア 事業

- 商業印刷
 - ・ カタログ
 - ・ チラシ
 - ・ パンフレット
- 出版印刷
 - ・ 書籍
 - ・ 雑誌

環境事業

- 生分解性プラスチック製造事業
- プラスチック類再生事業
- RPF燃料製造事業
- 一般・産業廃棄物処理事業

B P O 事業

- ロジスティック事業
 - ・ 発注管理、在庫管理を
トータルサポート
- 商業流通事業
 - ・ 飲食店向け商材の
流通代行

KYORITSU
共立印刷株式会社

IMC

ai
株式会社 映印刷

AKATSUKI NEXT

PRINTING NISHIKAWA Co., Ltd
株式会社 西川印刷

QUEST

BACH BERG
株式会社 バッハベルグ

KONNO

create

株式会社 竹崎

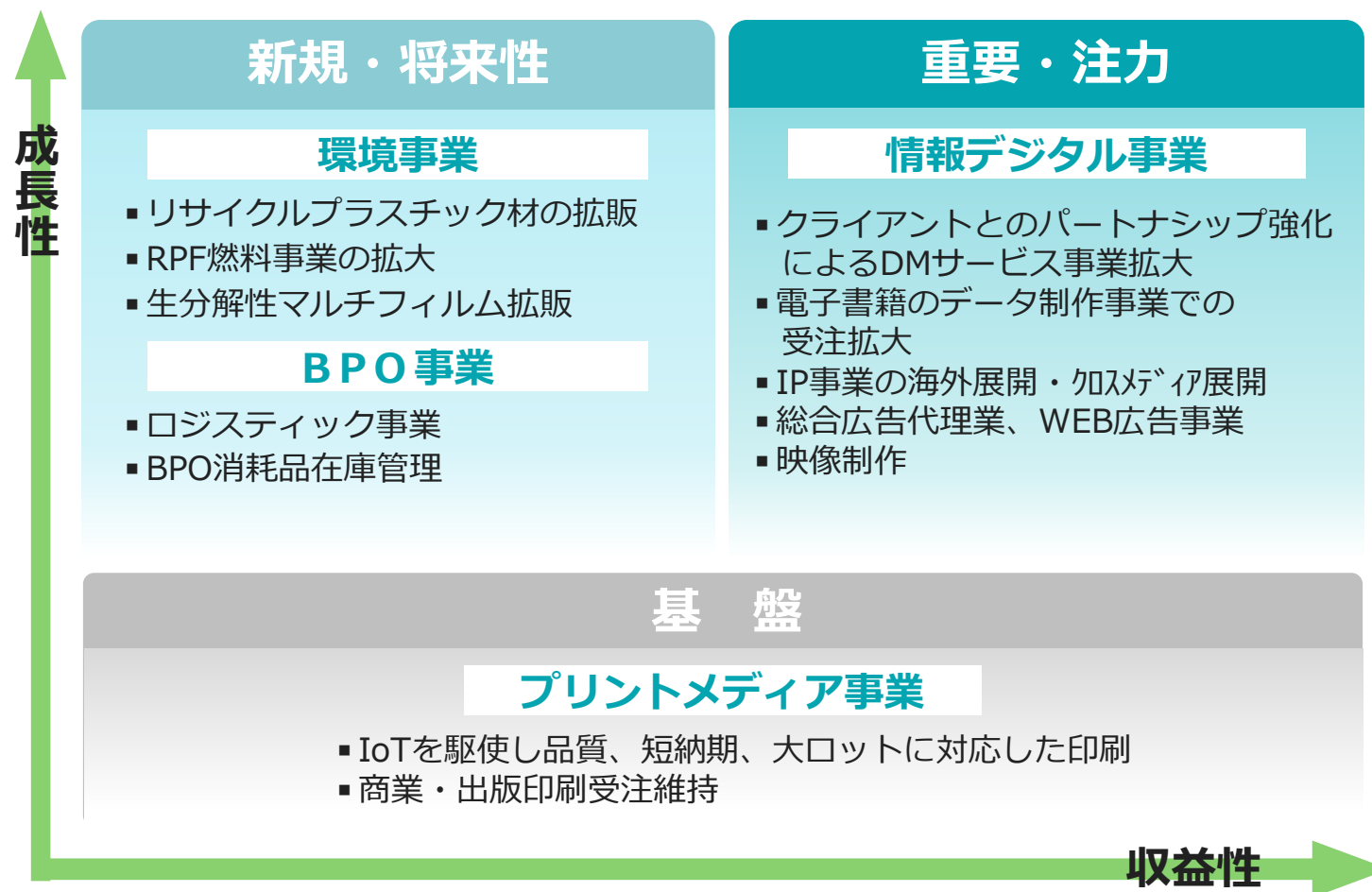
株式会社 東京アド

HONEY
MUSTARD

M & C

4事業の収益性・成長性の位置づけを明確にし、
戦略的な成長基盤を構築する

企業価値向上に向けた取り組み



■ 戦略的ポートフォリオの構築

- 情報デジタル事業をグループの中核事業と位置付け、戦略的に資金・人財を投資し、事業拡大を目指す
- 将来に向けた成長投資として、戦略的M&Aや設備投資を実施する

2028年3月期までの数値目標

売上高
500億円以上

2028年3月期までに事業別に下記の売上高目標を実現させることで、長期的な社会貢献と持続可能な強い事業体の構築に向けて邁進いたします。

売上高	情報 デジタル	プリント メディア	環境	B P O	連結調整	計
2025年 3月期実績	8,887	29,375	1,562	528	—	40,353 百万円
2028年 3月期目標	13,500	30,000	5,000	1,500	—	50,000 百万円

営業利益率
5%以上

成長エンジンとなる情報デジタル事業・環境事業はグループシナジーとM&Aを軸に、プリントメディア事業・BPO事業は長年培ったIoT生産体制を強化いたします。

営業利益 (利益率)	情報 デジタル	プリント メディア	環境	B P O	連結調整	計
2025年 3月期実績	684 (7.7%)	691 (2.4%)	179 (11.5%)	2 (0.4%)	▲308 (-%)	1,249 百万円
2028年 3月期目標	1,000 (7.4%)	850 (2.8%)	750 (15.0%)	100 (6.6%)	▲200 (-%)	2,500 百万円

自己資本比率
40%以上

2027年までに掲げた目標を2期前倒しで達成。財務体質強化と成長戦略投資の両輪を図るべく継続します。

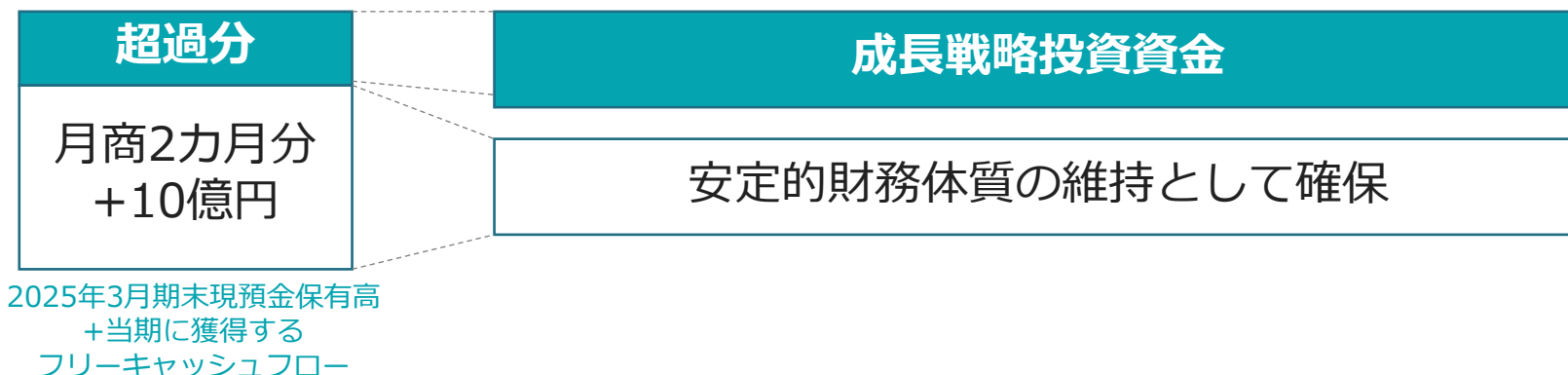
配当性向
30%以上

2027年までに掲げた目標を2期前倒しで達成。新たな価値を創出し続ける企業を目指して、安定的・継続的な株主還元を実現するべく引き続き継続します。

成長戦略資金の考え方

KYORITSUグループ売上高500億円以上、営業利益率5%以上を達成するための成長戦略投資について

⇒ 強固な財務体質維持のボーダーを**連結月売上高の2か月分+10億円**とし、**超過分をM&Aや設備投資などの成長戦略投資予算**とします。



当社は、成長戦略投資における投資リターン（投資によって獲得したフリーキャッシュフロー/投下資本）10%以上を目標としており、今後のM&A候補先や設備投資を行う上での判断基準となります。

前期に戦略投資の一部として、上記の基準に基づく資金の一部を安全性の高い資産への投資に振り向けており、上昇傾向にある支払利息の軽減を目的としております。

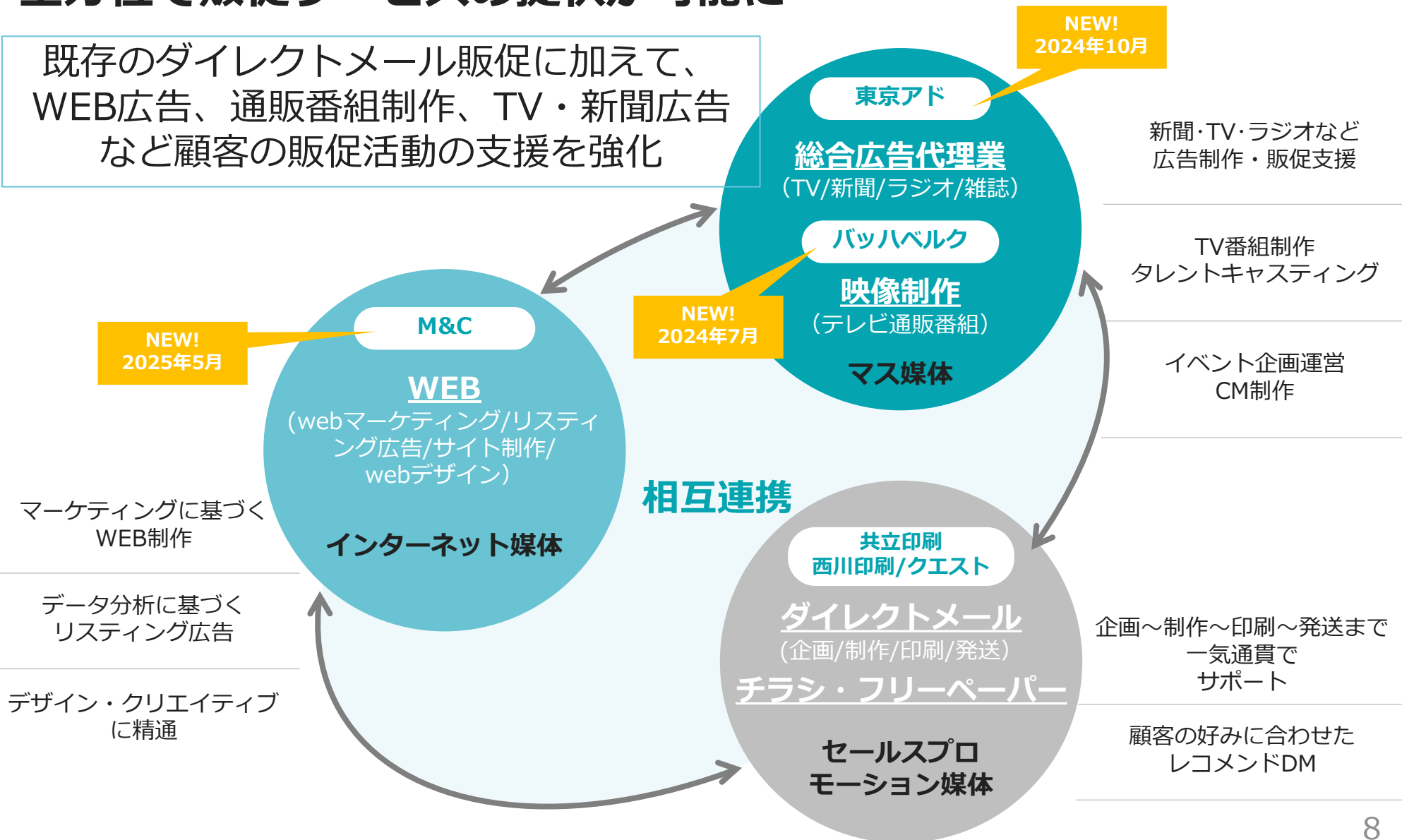
本業で稼ぐ力と有利子負債を織り交ぜながら積極的な成長戦略投資を加速させてまいります。

2

各事業の取り組み

全方位で販促サービスの提供が可能に

既存のダイレクトメール販促に加えて、
WEB広告、通販番組制作、TV・新聞広告
など顧客の販促活動の支援を強化



グループネットワークを活かした販促サービスの強化



総合広告代理業

全国にリーチする新聞広告

- 高い信頼性
- シニア層に最適な広告媒体
- 大手新聞社との信頼関係

東京アド

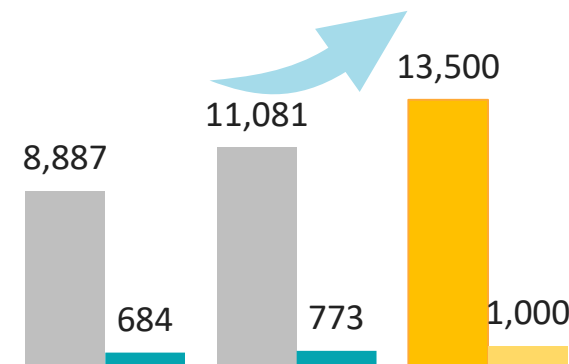
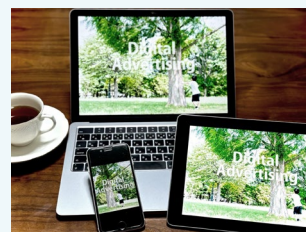


WEB広告

デザイン・クリエイティブに精通

- WEBサイト制作
- リスティング広告
- WEBマーケティング
- SNS広告など

M&C



2025/3実績 2026/3予算 2028/3目標

■ 事業別売上高 ■ 2028年3月期売上高目標
■ 事業別営業利益 ■ 2028年3月期営業利益目標



映像制作

売れる通販番組を追求

- テレビショッピング制作
- CM制作
- 商品案内動画制作

バッハベルク

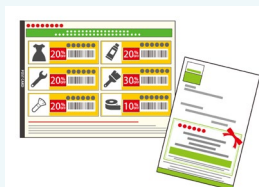


DMサービス

効果の高いダイレクトメール

- 顧客の好みに合わせたレコメンドDM
- 圧着加工、メーラー、封入封緘など

共立印刷/西川印刷/クエスト



電子書籍事業

作品ひとつひとつを大切に

- 海外企業と協業したグローバル配信などIP事業の強化
- 配信取次
- カラーリングなど

暁NEXT

A-WAGON



- チラシ
- 通販カタログ
- 商品カタログ
- パンフレット
- POP など



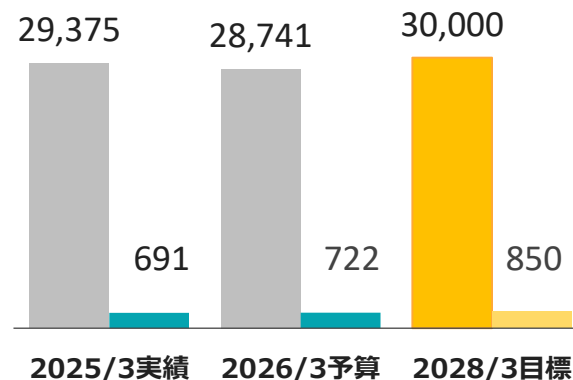
共立印刷／西川印刷



- 雑誌
- 情報誌
- 文庫本
- 新書 など



曉印刷



■ 事業別売上高 ■ 2028年3月期売上高目標

■ 事業別営業利益 ■ 2028年3月期営業利益目標



基幹システムと生産管理システムを連携し、クラウド管理することで、品質管理の徹底と生産効率を追求



KYORITSU オンライン校正システム
オンライン校正を利用することで、多様なご要望にお応えいたします。

アナログ校正の制限や煩雑さも… **一元管理＆遅延なく作業**



安全かつ、よりスピーディーな校正が可能なオンライン校正システムのサービス提供の強化で顧客満足度を向上



自動搬送システムを
活用した生産ライン
導入、再生エネル
ギーの活用など、環
境負荷を低減し、自
動化・省力化を加速
したスマートプリン
トメディアファクト
リーへ



環境にやさしい製品で環境社会に貢献

プラスチック類再生

循環型リサイクル資材

- 高性能な完全リサイクル素材
- ECサイトからも顧客拡大を目指す

山陰クリエート



RPF燃料製造

石炭の代替え燃料

- 固形で運びやすく、貯蔵が可能
- 配合により熱量コントロールが可能
- 環境にやさしい

山陰クリエート



一般・産業廃棄物処理

解体、運搬、処分まで一貫して対応

- 優良産業廃棄物処理事業者の認定
- 自社最終処分場

山陰クリエート



金属リサイクル

資源循環型社会への貢献

- 自動車排気ガスの有毒物を無害化する触媒から貴金属をリサイクル

竹崎

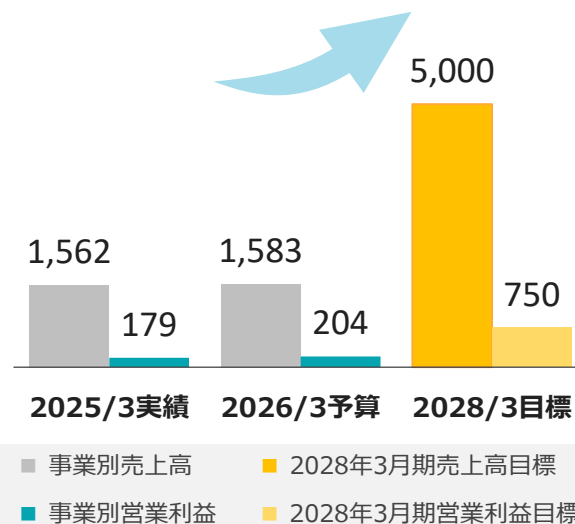


生分解性プラスチック

自然に還るプラスチック

- 農業用生分解性マルチフィルムの製造販売
- 産学連携による新製品開発

今野

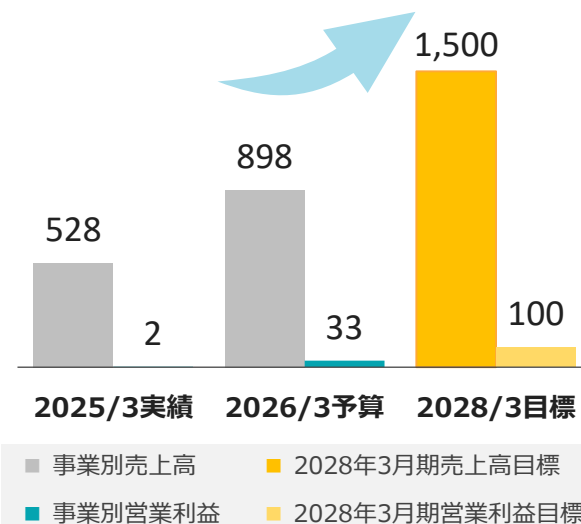


グループの販売ネットワークの活用と取扱品目の拡大



ソリューション

多店舗展開されているお客様の販促物、消耗品、包装資材などの資材の在庫管理・発送管理のトータルサポートなど顧客に合わせた新サービスの開拓



ロジスティック事業

自社開発の受発注システムを活用した検品、自社開発の配車システムなど、物流ラインにシステムを組み込んだ業務の効率化



商業流通事業

包装材などのモノづくりから物流請負業務まで窓口一本化を実現。埼玉県川越市にセンターを構え、商業流通事業の規模拡大をめざす



3

資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応方針の策定について
(2025.6.23改定)

PBR向上への目標と今後の取り組み

【現状分析】

当社グループのPBRは、足元0.4～0.5倍程度であり、長期に渡り1倍を下回る状況が続いております。これは事業の成長性や利益率の低調が要因であると捉えておりますので、重要業績評価指標(KPI)と位置付けている売上高と営業利益率の向上がPBRの向上に必須であると認識しております。

【PBR改善に向けた目標指標】

2025年6月に策定した事業計画において掲げた「グループ売上高500億円以上、営業利益率5%以上」の着実な実現を目指し、その上で自己資本比率40%以上、配当性向30%以上の継続を目指します。

【PBR向上への施策】

①事業ポートフォリオの改革

当社グループは、事業ポートフォリオを「情報デジタル事業」、「プリントメディア事業」、「環境事業」、「BPO事業」に区分して、当社の重要業績評価指標（KPI）と位置付けている売上高と営業利益率の向上施策に務めております。

「情報デジタル事業」「環境事業」においては、グループ会社内での販促活動や生産体制などでシナジーを活かすとともに、M&Aにより成長性を高めたいと考えております。

「プリントメディア事業」「BPO事業」においては、生産体制や物流面で蓄積したIoT技術を活かして利益率向上に努めます。

これらを進めるとともに、戦略的な経営資源の投下により成長性と利益率の高い体制構築に取り組んで参ります。

PBR向上への目標と今後の取り組み

②財務戦略・資本政策

自己資本比率40%以上を継続するために収益力の強化に努めるとともに、調達余力を意識した有利子負債水準を意識しつつ、機動的な成長戦略投資にも対応するべくネットキャッシュ残高を意識した財務体質を構築し、持続的な成長に向けた「成長戦略投資」「財務の健全性」「株主還元」のバランスを追求します。

③株主還元

配当方針については、「当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、配当性向30%以上を目標に、株主のみなさまに対する安定的かつ継続的な配当を行うこと」を基本方針としております。

④IR戦略

PBRの低水準については、当社事業に対する成長可能性や将来の期待値が低いと認識されている事も要因の一つと考えております。
事業収益の向上に努めるだけでなく、株主・投資家のみなさまとのコミュニケーションを重視し、当社グループの事業戦略や将来性、社会貢献などについてご理解頂けるように努めて参ります。

4

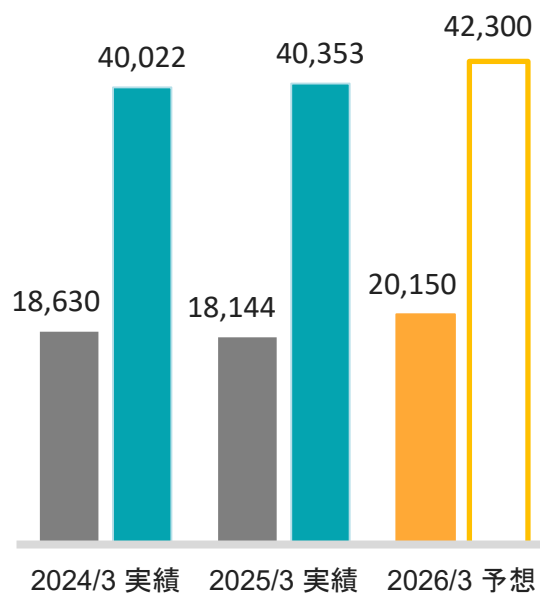
2025年3月期 決算概要

連結業績ハイライト

売上高

40,353百万円

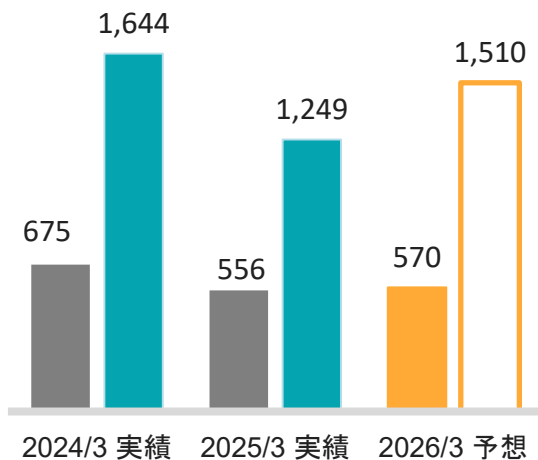
前年同期比0.8% 増



営業利益

1,249百万円

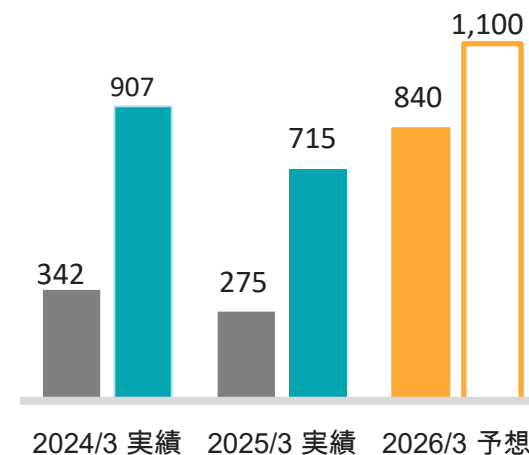
前年同期比24.0% 減



親会社株主に帰属する 四半期純利益

715百万円

前年同期比21.2% 減



■ 2Q ■ 4Q ■ 予想2Q □ 予想 (百万円)

連結業績概要

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前年 同期比	2026年3月期 予想
売上高(百万円)	40,022	40,353	0.8%	42,300
営業利益(百万円)	1,644	1,249	△24.0%	1,510
営業利益率	4.1%	3.1%	—	3.6%
のれん償却・M&A費用を除外 した営業利益(百万円)	1,772	1,510	△14.8%	1,677
営業利益率	4.4%	3.7%	—	4.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	907	715	△21.2%	1,100

株主還元

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
一株あたり 年間配当	普通配当7.0円	普通配当7.5円	普通配当 8.0 円
配当性向	33.8	45.8	31.8 %
自己株式取得	—	32.6百万円	172百万円
総還元性向	33.8	50.3	46.8 %

2025年3月期は、直近の配当予想から0.5円の増配を行いました。

■ 配当方針 ■

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、配当性向 30%以上を目標に、株主のみなさまに対する安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

会社概要

社名	株式会社KYORITSU
所在地	東京都板橋区清水町36番1号
事業内容	グループ経営戦略策定・管理並びにそれらに付帯する業務
資本金	33億9,384万円
決算期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：7795）
役員	代表取締役社長 景山豊 取締役 田坂優英 社外取締役 藤本三千夫 社外取締役 亀井雅彦
URL	https://www.kyoritsu-hd.co.jp/



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。